

☆品種選定会（2025年 新品種発表）開催のご報告☆

毎年恒例の「品種選定会（新品種発表会）」を、11月27日に開催いたしました。

当日は午前・午後の二部制で実施し、多くのお客様にご参加いただきました。

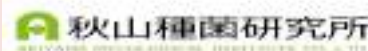
会場では、弊社主力品種 A-511の発生のほか、新品種 A-101・A-151 の初回発生から古櫓や成型菌の発生までをご覧いただき、参加者の皆様より大変好評をいただきました。

さらに、最新の新品種発表として大型夏菌A-528を公開。初回の大きさや肉質の硬い品質に驚き、夏場の発生写真の掲示などもご覧いただき「種菌は何月から販売してくれるの？」

このようなお声を多く頂戴するなど、大きな期待が寄せられています。

また、新開発品種からも新たに4品種の発生も展示し、今後の新品種開発への関心と期待が一層高まる内容となりました。

以下に、当日の発生状況をご報告いたします。



【最新の新品種を発表】

新品種名：**秋山A-528号**（試験品種No.X27改め）：高中温性品種（夏菌）

○特徴

- ・年内(10月)から贈答用サイズのキノコを採取可能
- ・傘の肉質が硬く、巻き込み強い、肉厚の良型品種
- ・2年目夏場の状況：
高温多湿の環境下でも品質に優れ、
肉質が硬く品持ちが良い
- ・古櫓の秋の発生でも、大型特長を維持



○選定会での生産者様の声

- ・大きいけど、少し大き過ぎるくらいだ。
- ・巻き込み強くて、変形がなく形状は完璧。
- ・古櫓で発生したキノコが大きくて驚いた。
- ・肉質が硬い大型は他の品種にはない。
- ・夏場にぜひ使って試してみたい。
- ・自然発生に巨大なキノコが出ていて驚かされた。



初回発生（2025/11/27）品種選定会



2年櫓（2025/11/27）品種選定会

☆夏菌特性を発揮できる一方、秋から冬にかけては超大型キノコとして生育する、
高い利用性を持つ特殊な品種として注目されています！

新品種 A-101 (高中温性品種)

○年内の厳しい残暑(8月下旬～9月)の中でも

生産者様から、発生時について以下のコメントを頂きました

- ・高温時でも、大きさや肉厚感が良い。
- ・足太で安定しており(年内はやや長め)。
- ・極端な早使いはできないものの
8月盆過ぎから安定して発生していた。
- ・品質、品持ちともに良好。

(参照:右写真/生産者発生舎にて撮影)



初回発生 (撮影: 2025/8下旬)

○品種の特徴

- ・傘色は明るい明褐色で、足は白く太い
- ・肉質は硬めで品質に優れ、日持ちの良いキノコである
- ・年内は8月下旬から使用でき、2年目の春～夏場～秋にかけての高温多湿環境に適している
- ・猛暑下でも安定して発生し、2年楯においても良品質の集中発生が見られる
こうした結果から「夏菌」としての評価が確立し、現在人気急上昇している品種である



初回発生 (撮影: 2025/11/27) 品種選定会

品持ちが良い、夏場の発生状況(2年楯)

お客様からいただいた発生写真を、選定会でも掲示しました。夏場の発生状況です。
初回/9月(4パツク)、2回目/10月下旬(2パツク)
3回目/1月(大型1パツク)の発生結果を経て
4回目が以下の写真になります。



4回目 (撮影: 2025/8月)

○成型駒での発生

成型菌(発砲栓)でも変形はほとんどみられず、封ローと同様の発生が可能であったことから、評価を得ることができました。



初回発生 (撮影: 2025/11/27) 品種選定会

新品種 A-151 (中高温性品種)

【年内持ち越しで、出難い時期から春先に初回スタート！】

このような特殊な品種として販売が始まったA151でしたが
生産者様の方々からの発生結果からは

「初回を年内10～12月で使用しないともったいない」さらに

「年内1回使い、出難い春先に2回目でも十分集中発生してくれる」といった評価を頂きました。

今回の選定会においても、初回発生の芽数の多さ、丸みのあるキノコは高く評価され
「11月・12月に使いたい」との声も聞かれました。

また、集中発生した場合でも芽出しに適度なバラつきがあるため段階的に収穫でき、
クズキノコが出にくい点も好評でした。さらに低温域でも傘が明るく仕上がることに加え
「しいたけの風味がとても強い！」という感想も寄せられています。

【品種の特徴】

- ・傘は明褐色(低温多湿でも黒さが出ない)
- ・収量多く、大型肉厚キノコが適度に採取できる
- ・傘のフチが強く、開いても硬さが残る
- ・足は太く傘とのバランスがとてもよい
- ・採取し易い(もぎやすい)

★原木らしい香りが強い美味しい品種

☆春先の自然発生が少ないので、
出難い時期に集中発生が得られる



初回発生 (撮影：2025/11/27) 品種選定会

○2年櫓(4～5回目)、樹皮切りによる多産型

古櫓における発生では、樹皮を切ったの
出やすいポイントを説明しました。

現場からも、
その発生状況
を見て、高い
評価が寄せら
れ、2年櫓での
収量の多さを
実感していただ
きました。



4回目発生 (撮影：2025/11/27) 品種選定会

弊社の主力品種「A-511」

○安定感に定評のあるA511

「結局は A511 に戻ってしまう」という声が聞かれるように
他品種を試したうえで、A511 の方が扱いやすく、自分には合っているというお言葉を
いただき始めています。また、収益面で比較しても、最終的には A511 の方が
他品種より優れているというお話も伺っています。

A511は、形状の安定性と収量性の双方に優れていることから
常に上から下まで均一に発生するポイントは大きな強みであり、だれでも平均点が取れる
安定感は抜群であると思います。 ＊初回に出過ぎる傾向は否定できませんが・・・＊
“鉄板品種”として欠かせない存在であり、弊社が自信を持って推奨しております。
今回の選定会の発生からも、適度な発生・適度な大きさ・原木を選ばない発生結果によって
「やっぱり A511 だよね」という声が何度も聞かれる場面がありました。



初回発生（撮影：2025/11/27）品種選定会

○古櫓における安定した大きさと収量

○3年櫓での研究結果報告

今回、4～5回目の古櫓の発生結果もご覧いただき、
安定した発生量と、2年櫓になっても大きさを維持している状況もご納得いただきました。
また、研究試験の取り組みとして、2年櫓終了後に再植菌した結果も併せて紹介し、
多くのご質問が寄せられました。



2年櫓発生（撮影：2025/11/27）品種選定会



3年櫓/再植菌試験発生（品種選定会にて）

* 再植菌試験情報 *

比較的太く樹皮が
硬い櫓木で、2年目
までの総収量も少
なく、樹皮発生も
少なかった櫓木を
対象に再植菌試験
を行いました。

ご覧の発生キノコ
は、再植菌穴から
の発生がほとんど
です。